

スーザン・サランドン

ショーン・ペン

その瞬間、誰よりもあなたは人間の顔をしていた。
手紙を、たらい、会いに来なほしし……祈りと奉仕に生きる彼女は、ひとりの死刑囚の願いに応え、いばらの道に足を踏み入れた。

ティム・ロビンズ監督作品

デッドマン・ウォーキング

D E A D M A N W A L K I N G

第68回アカデミー賞主演女優賞受賞 第46回ベルリン国際映画祭主演男優賞受賞

POLYGRAM FILMED ENTERTAINMENT PRESENTS A WORKING TITLE/HAVOC PRODUCTION A FILM BY TIM ROBBINS SUSAN SARANDON SEAN PENN
"DEAD MAN WALKING" ROBERT PROSKY RAYMOND J. BARRY R. LEE ERMEY SCOTT WILSON MUSIC BY DAVID ROBBINS COSTUME DESIGNER RENEE EHRlich KALFUS
EXECUTIVE PRODUCERS RICHARD HOOVER PRODUCED BY LISA ZENO CHURGIN DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY ROGER A. DEAKINS, A.S.C. EXECUTIVE PRODUCERS JON KILIK TIM ROBBINS RUDD SIMMONS
SCREENPLAY BY JON KILIK TIM ROBBINS DIRECTED BY TIM ROBBINS

ポリグラム・フィルム・エンターテインメント提供/ワーキング・タイトル・ハボック製作/ティム・ロビンズ作品
スーザン・サランドン/ショーン・ペン/ロバート・プロスキー/レイモンド・J・バリー
R・リー・アーメイ/スコット・ウィルソン/音楽: デビッド・ロビンズ/衣装: レニー・アーリック・カルフス
美術: リチャード・フーパー/編集: リサ・ゼノ/チャージン/撮影: ロジャー・A・ディーンズ, A.S.C.
製作総指揮: ティム・ビーヴァン、エリック・フェルナー/原作: シスター・ヘレン・ブレイジョン (徳間文庫)
製作: ジョン・キリック/ティム・ロビンズ/ラッド・シモンズ/脚本・監督: ティム・ロビンズ
セントラCD/ソニー・レコード/提供: アスミック/日本ヘラルド映画/配給: 日本ヘラルド映画 40

SMALL PRINT AND NOTICES AT THE BOTTOM OF THE POSTER

死にゆく死刑囚の表情、そして目が私達に訴えかけるものは一体何か!? 全米マスコミが惜しめない賞賛を贈った、人間の深奥に問いかける衝撃の感動作!!

全米マスコミがこぞって賛辞を贈り（「ALL OF AMERICA AGREES」）、人間の深奥に問いかけるその衝撃的なテーマ性ゆえに、社会に大きな波紋を投げかけ、全米で大ヒットを記録した映画「デッドマン・ウォーキング」は、ひとりの死刑囚とカトリックのシスターの精神的交流を軸に、死刑執行までの様々な立場における人間の心情を、あるひとつの側面に偏ることなく終始透徹した視点で描いた、心を揺さぶられる感動作である。

実際に何人もの死刑囚に精神アドバイザーとして付き添ったカトリックの修道女、シスター・ヘレン・ブレイジョンの同名著書「デッドマン・ウォーキング」をもとに、「ショート・カット」「ショーシャンクの空に」などのティム・ロビンズがメガホンをとった。

彼が、非常にデリケートな題材を扱いながら成功を収めた大きな要因は、加害者と被害者という対峙する二つの大きな側面を、公正かつ入念に描き切った点にあるといえる。死刑囚の死への絶望的恐怖と、肉親を殺されたその遺族たちの悲嘆と憎悪。それら双方の立場を十分に理解しながら、あえて極端な感情移入を排し、更に社会から白眼視される死刑囚の家族という側面をも通して、それぞれの間で揺れ動く、カトリックのシスターの心の葛藤や精神アドバイザーとして死刑囚に接していく愛と勇気を誠実に描いていく。

そして、最も注目し値するのは、緊張感溢れる重厚なラストシーンである。シスター・ヘレンの努力と勇気によって、真の愛に目覚めたその死刑囚がみせる圧倒的的表情が、我々に訴えかけるものは一体何なのか。法とは、正義とは、人間の尊厳とは、生とは、死とは…そして特定の状況下で正当化される殺人行為である死刑とは…。死にゆく死刑囚が訴えかけるその表情、そして目は、人間として決して逃避できない根源的な問題を心の奥底に投げかけるのである。

カトリックの修道女、シスター・ヘレン・ブレイジョン役を演じた

監督ティム・ロビンズの
伴侶でもあるスーザン・
サランドンは、過去四度
アカデミー賞にノミネー
トされ、今回、死刑囚に愛
と勇気で接していく非常
に困難な役どころを好演
し、見事、アカデミー賞主
演女優賞に輝いた。また、
死刑囚マシュー・ポンス



レット役のショーン・ベンも、殺人犯の様々な感情の揺れ動きを突出した演技で熱演し、惜しくもアカデミー賞は逃したが、ベルリン国際映画祭主演男優賞を始め、数々の賞を受賞した。

さらに、「クール・ランニング」のレイモンド・J・バリー、「フルメタル・ジャケット」の個性派R・リー・アーメイ、「34丁目の奇跡」の名優ロバート・プロスキー等がこの映画を支える役どころとして大きな貢献をしている。

また、ジョナサン・デミ監督の「フィラデルフィア」でアカデミー賞とグラミー賞の史上初の快挙を成し遂げたカリスマ的存在、ブルース・スプリングスティーンが、今回もアカデミー賞にノミネートされたオリジナル主題歌「デッドマン・ウォーキング」を切々と歌い上げ、若者の圧倒的支持を受けるパール・ジャムのエディ・ヴェグターも楽曲を提供するなど大きな話題となっている。

尚、「デッドマン・ウォーキング」とは、独房を出され、まさに死にゆく死刑囚のことを指す刑務所内の隠語である。

デッドマン・ウォーキング

監督・脚本・製作：ティム・ロビンズ
スーザン・サランドン/ショーン・ベン
原作：徳間文庫/サントラCD：ソニー・レコード
カラー作品/ビスタサイズ/アメリカ映画
提供：アスミック・日本ヘラルド映画/配給：日本ヘラルド映画
©1995 PolyGram Productions B.V. All Rights Reserved.



ALL OF AMERICA AGREES

★★★★★
「ガッツがあって、純粹で、シンプル。勇敢で、情熱的なドラマ。今年の最高傑作映画のうちの1本。」
ザ・ニューヨーク・タイムズ

★★★★★
「スーザン・サランドンが、みごとで、かつ強い印象を与える演技を見せてくれる。サランドンは、10年間にわたってみせてきた素晴らしい演技を凌ぐほど、輝いている。演技がこれ以上素晴らしいものになることはめったにない!」
サンフランシスコ・クロニクル

★★★★★
「忘れることができない。長い間あなたのもとにとどまる。この上なく感動的な経験。」
ワシントン・ポスト

★★★★★
「冒頭のシーンからラストに至るまで、みごとに演出され、みごとに演じられている。最近のアメリカ映画で、これほどまでに慈悲深く、これほどまでに知性と感情のバランスが取れている作品はほとんどなかった。実に憐れみ深い。」
シカゴ・トリビューン

★★★★★
「ショーン・ベンの演技には、無情な誠実さがある。より深く私たちの心を打つ。」
ニュースウィーク

★★★★★
「今年度の最高傑作の映画のうちの1本。これ以上向上の余地のない演技!」
ローリング・ストーン

★★★★★
「ショーン・ベンの演技は畏敬の念を抱かせる。確かに彼は、我国の数少ない偉大なる映画俳優の一人である。」
CBSテレビ

今夏〈衝撃×感動〉ロードショー!

※特製ポストカード付前売券好評発売中 / (恵比寿ガーデンシネマ劇場窓口にて限定1000名様)
前売鑑賞券(前1500円/中1300円/後2800円)好評発売中 / (ペア券は劇場)

●満席および上映開始後のご入場はできません。
●事前に混雑状況をお問合せ下さい。

定員制・入替制

恵比寿ガーデンプレイス内・恵比寿三越となり
03 (5420) 6161
恵比寿 ガーデンシネマ